

## 海津市小・中学校教育の方針と重点

### 学校経営／人や地域のつながりを生かした開かれた活力ある学校経営

- 【運営組織】 管理職が軸を明確にした教育理念を持ち、指導性を発揮するとともに、全教職員を活かす機能的な運営組織を確立する。教職員が児童生徒に関わる時間を増やすとともに、教職員自身が心身共に健康で、やりがいをもって教育活動に取り組めるよう、校務分掌や運営組織、取組方法を見直し業務のスリム化を図る。
- 【教育課程】 学習指導要領を遵守するとともに、学校や地域の特色等を生かした創意ある教育課程を編成・実施する。
- 【危機管理体制】 児童生徒の命を守りきることを最優先に考え、全教職員が危機意識をもって一人一人の安全・安心の確保に努め、学校内外の環境を見直すとともに、家庭・地域社会・関係機関等との連携の強化を図り、適切かつ確実な危機管理体制を確立する。また、毎月18日の「安全の日」の取組を確実に実施し、防災に関する危機管理マニュアルの構築・安全管理の徹底を図る。

### 研修／課題を明確にし、主体的に進め、確かな指導力を身に付ける研修

- 【主題研修】 学校課題を明確にし、校長のリーダーシップのもと全教職員が指導力を高めることができるように、主体的・計画的に研修を進める。
- 【現職研修】 社会の変化や時代の要請などに対応できるよう現職研修（特別支援教育、人権同和教育、ICT活用、情報モラルの指導に関わる研修、教職員のための指導力向上研修）の充実を図る。特別な支援を必要とする児童生徒の教育的なニーズに対応するため、全教職員の指導力向上及び校内の支援体制充実について、組織的・計画的に研修を行う。
- 【自己研修】 自己啓発面談を通して、具体的な個人課題を設定し、日々の指導で実践し継続的に研修を進める。

### 指導／ねらいを明確にした指導による「生きる力」の育成

- 【教科指導】 基礎的・基本的な知識・技能の習得を図るとともに、思考力・判断力・表現力及び自ら学ぶ意欲や態度を育てる。
- 【道徳教育】 自己を見つめる力と他を思いやる心を育てる。
- 【小学校外国語活動】 外国語を通じて、コミュニケーション能力の素地を養う。
- 【総合的な学習の時間】 探究的な学習を通して、よりよく問題を解決する資質や能力を育てる。
- 【特別活動】 所属感を高め、よりよい生活や望ましい人間関係を築こうとする自主的、実践的な態度を育てる。
- 【生徒指導】 共感的な理解に徹し、望ましい人間関係を築く力と自己指導能力を育てる。
- 【進路指導】 自己の生き方を考え、主体的に進路を選択できる能力や態度を育てる。
- 【健康教育】 運動に親しみ、進んで健康で安全な生活を営む態度を育てる。
- 【特別支援教育】 一人一人の教育的ニーズに応じ、自立し社会参加するための基盤となる力を育てる。

## 海津市就学前教育の方針と重点

### 認定こども園・幼稚園・保育園経営／全教職員の協力体制による活力ある園経営

- 【運営組織】 管理職は揺るぎ無い教育理念に基づき、教職員一人一人が高い倫理観をもって指導にあたるよう指導するとともに、機能的な運営体制を確立する。
- 【教育課程・保育課程】 幼児の心身の発達と園や地域の実態に即した創意ある教育課程を編成し、実施する。
- 【危機管理体制】 毎月18日の「安全の日」の取組を確実に実施し、幼児の命を守ることを最優先に考え、適切かつ確実な危機管理体制の確立を図る。
- 【子育て支援】 地域における子育て家庭を支えるセンターとしての役割を果たすとともに、地域の子育て力の向上を図る。
- 【教職員の健康・やりがい】 業務のスリム化を図り、幼児に関わる時間を増やすとともに、教職員が心身共に健康でやりがいをもって勤務できるよう、園経営を充実する。

### 研修／自己の課題を明確にし、確かな指導力を身に付ける計画的な研修

- 【主題研修】 園の課題を明確にし、園長のリーダーシップのもと、全教職員で組織的・継続的に研修を進める。
- 【現職研修】 今日的な課題や幼児期の諸課題を解決するための研修を組織的に行う。
- 【自己研修】 経験年数に応じた研修、専門性を高める研修、多用なニーズに応じた研修を進める。

### 指導／発達の課題に即し、遊びを通じた総合的な指導

- 【指導計画・保育計画】 発達や学びの連続性を考慮した指導計画を作成するとともに、評価に基づき常に指導計画を改善する。
- 【心の教育】 基本的な生活習慣の形成を図るとともに、幼児相互の関わりや自然と触れ合う体験活動を通して道徳性の芽生えを培い、心の教育を充実する。
- 【規範意識】 集団生活のきまりを守る指導を通して、一人一人に応じた規範意識の芽生えを培う。
- 【幼保小連携】 教職員の交流を深め、発達や学びのつながりを意識し、小学校との円滑な接続を図る。
- 【環境構成】 心身の調和のとれた発達を促すよう、意図的・計画的に環境の構成を工夫する。
- 【特別支援教育】 障がいのある幼児一人一人の発達の特性を理解し、一人一人のニーズに応じたきめ細かい支援や指導を関係機関と連携して行う。